



1 次不等式

不等式の性質

1. $a < b$, $b < c$ ならば, $a < c$
2. $a < b$ ならば, $a + c < b + c$
 $a - c < b - c$
3. $a < b$, $c > 0$ ならば, $ac < bc$, $\frac{a}{c} < \frac{b}{c}$
4. $a < b$, $c < 0$ ならば, $ac > bc$, $\frac{a}{c} > \frac{b}{c}$

絶対値が含まれる不等式は次のように扱う事ができる。
 $a > 0$ のとき,

- $|x| < a$ の解は, $-a < x < a$
- $|x| > a$ の解は, $x < -a$, $a < x$

例. 次の不等式をときなさい.

$$|x + 3| + |x - 1| < 6$$

解答例. 絶対値をはずす際に, x の値に関して, 次のような場合分けが必要である.

- (i) $x \leq -3$ とき,
 $x + 3 \leq 0$ かつ, $x - 1 < 0$ なので, 与えられた不等式から, 不等式,

$$-(x + 3) - (x - 1) < 6$$

を得る. これを解くと, $x > -4$ となり, この場合, $-4 < x \leq -3$.

- (ii) $-3 < x \leq 1$ とき,
 $x + 3 > 0$ かつ, $x - 1 \leq 0$ なので, 与えられた不等式から, 不等式,

$$(x + 3) - (x - 1) < 6$$

を得る. これを解くと, $4 < 6$ となるので, 今考えている範囲のすべての x で不等式が成り立つ. よって, この場合, $-3 < x \leq 1$.

- (iii) $1 < x$ とき,
 $x + 3 > 0$ かつ, $x - 1 > 0$ なので, 与えられた不等式から, 不等式,

$$-(x + 3) + (x - 1) < 6$$

を得る. これを解くと, $x < 2$ となり, この場合, $1 < x < 2$.

したがって, (i)(ii)(iii) より, $-4 < x < 2$.